

令和5年度 被覆肥料の被膜殻流出防止対策実証ほ実績

令和6年3月

岡山県農林水産部農産課

品種 早晩性	市町村	普及	品種	施肥方法	実証区	精玄米重 (指数)	対照区 精玄米重 (kg/10a)	備考	
早生	高梁市	備北広域	コシヒカリ	全層※	鶏ふん+追肥2回	108	428	※対照区は側条 集計から除く	
	新見市	新見	あきたこまち	側条	硫黄被覆①	100	483		
					化学緩効性	99			
	津山市	美作広域		コシヒカリ	側条	硝酸化成抑制剤入り化学緩効性	81	506	
	新庄村	真庭		ヒメノモチ	側条※	ウレアホルム(UF)入り化成	118	446	※対照区は全層
美作市	勝英農研現地)		コシヒカリ	側条	硫黄被覆①	105	476		
					化学緩効性	97			
中生	玉野市	備前広域	ヒノヒカリ	側条	SOX・GU入り化成	94	504	穂肥追肥(両区)	
	赤磐市	東備	きぬむすめ	側条	硫黄被覆②	100	628		
	笠岡市	井笠	みなちから※	側条	硫黄被覆①	94	631(組玄)	※粗玄米で比較	
	赤磐市	農業研究所	きぬむすめ	全層	硫黄被覆①	94	573	硫黄被覆肥料2種類 について試験を実施 したほか、穂肥追肥 及び基肥増施につい ても検討	
					硫黄被覆①+追肥N2	100			
					硫黄被覆①+増施N2	100			
					硫黄被覆②	88			
					硫黄被覆②+追肥N2	98			
	硫黄被覆②+増施N2	93							
	赤磐市	農業研究所	きぬむすめ	ベスト二段※	ベスト①	97	582	※2種類のベスト 肥料を施肥位置及び 上下段の配分を変更 して試験を実施	
ベスト①					98				
ベスト②					96				
ベスト②					99				
ベスト②					99				
晩生	倉敷市	備南広域	アケボノ	側条	硫黄被覆①	99	627	※流し込み施肥によ り追肥	
					硝酸化成抑制剤入り化学緩効性	96			
					硫黄被覆①+追肥N2※	95			
	井原市	井笠		アケボノ※	全層	鶏ふんベスト+追肥N4.2	93	618	※湛水直播
	赤磐市	農業研究所	アケボノ	全層	硫黄被覆①	88	649	硫黄被覆肥料につい て試験を実施したほ か、穂肥追肥及び基 肥増施についても検 討	
硫黄被覆①+増施N2					90				
硫黄被覆①+追肥N2					92				
硫黄被覆①+追肥N4					94				

□早生 □中生 ■中生(追肥・増施あり) □晩生 ■晩生(追肥・増施あり)

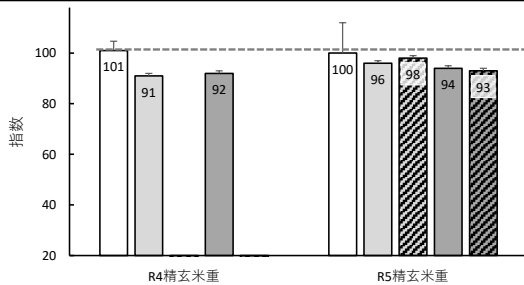


図 実証区の精玄米重 (対照区を100とする指数)

表 実証区の精玄米重 (2か年)

実証区	R4 精玄米重	R5 精玄米重
早生	101	100
中生	91	96
中生(追肥・増施あり)	-	98
晩生	92	94
晩生(追肥・増施あり)	-	93

結果の概要

- ・プラスチックを用いた従来の被覆肥料(対照区)に硫黄被覆肥料やウレアホルム(UF)入り化成肥料、化学緩効性肥料及び鶏ふん等の代替肥料を用いた場合の収量は下記のとおりであった。
- ・早生品種では実証ほによって結果は異なるが2か年ともに平均100と同等であり、代替肥料でも同等の収量確保が可能。
- ・中生品種では平均91(R4)、96(R5)と収量がやや低下するが、穂肥追肥や基肥を増施することで同等の収量確保が可能。
- ・晩生品種では平均92(R4)、94(R5)と収量が低下する。穂肥追肥や基肥を増施しても93(R5)と収量の向上には至らず、追肥の方法や時期について検討が必要。

※本結果は2か年の実証結果であることに留意する。